

心・安・全
み・続・け
世・ユ・ニ
生・カ

知ら咲か



2021OCTOBER No.100

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 URL <http://www.shirasaka8.net/>
連絡先 「知ら咲か」ホームページの“問い合わせ”をご利用下さい。

皆様の投稿を紙面に採用します

例えば秋にちなんだ「○○の秋」

★○○の秋

秋は天候がいい日が多いため運動をするのに最適な日が多いですね。前回の東京オリンピックが開催されたのが10月10日だったことから長くこの日を「体育の日」としてきました。できるだけ「スポーツの秋」を楽しみながら体力の維持、増強をしたいところですが、新型コロナウイルス感染症にも気を配りながら「無理なく、適度に、人との距離をとりながら」運動をしたいですね。

8年の雑誌「新潮」にこの言葉が記載されていたことからとすると解説しているものもあります。そのほかに、二科展、日展、院展等々の大きな展覧会が集中しているのも秋だからと言われているようです。そういえばこの地域でも各マンションで「絵画展」が開かれます。今年も「活動自粛」ということで延期を余儀なくされているようです。でも、創作活動自体は人との距離をとることもできますので今も続けておられる方も多いいのではないのでしょうか？ぜひ発表して頂ければと楽しみにしています。



「読書の秋」もよく聞きます。

「灯火親しむべし」とのフレーズが出てくる中国の詩からだそうなんです。秋の夜は長いので、夜には灯りをともして読書をするのが最適だ」という意味です。最近では書店で本を購入する方が減り、webでの読み方もあるようですが、本にはいろいろな思いが込められています。秋の「読書の秋」にもなるかもしれません。

② クラスター対策の徹底
・友人等との会食や宅飲み、園、路上等での飲酒は絶対しない。
① 県民に要請をしています。今一度、責任ある行動の徹底を。県境を超える往來をしない。買回数を減らすなど混雑した場所への外出の半減。感染対策の徹底されている店の利用は控える。
・感染者の発生を減らすなど混雑した場所への外出の半減。買回数を減らすなど混雑した場所への外出の半減。買回数を減らすなど混雑した場所への外出の半減。

「実りの秋」もあるから「食欲の秋」という言葉もあるのでしょうか。
「実りの秋」もあり本音です。早く心配なく暮らせる日を待ちたいというのが本音です。これは米に代表される穀物やいろいろな果実の収穫が多くなることからきています。「食欲の秋」という言葉もあるのでしょうか。
「実りの秋」もあるから「食欲の秋」という言葉もあるのでしょうか。

最近の兵庫県の感染者数推



・マスクの着用、手洗い、手指の消毒、喚起など基本的な感染対策を徹底し発熱等の症状が見られる場合は出勤、通学園を自粛する。
・多数の方の利用する施設の入場制限や誘導の徹底(詳しくは兵庫県HPへ)
少し感染者数が減っている数字も見られますが、まだまだ油断することは出来ません。感染される方の年齢が下がっているのも気になります。油断することなく感染対策の基本を続けるようにしたいです。

「知ら咲か」記事の源泉
「地域の宝もの」情報

この地域には宝ものがあります。山、川、森、人々、イベント等々です。

このレポーター役としていつでも原稿をお寄せ下さい。

★神社仏閣のない地域

私たちの住んでいる白瀬川両岸地域は1970年代以降に開発されたまちです。地域には昔からの神社仏閣はなく、良くも悪くも地域行事として人々が集まる機会は新たに創設することが必要でした。地域の助け合いや支え合いの基盤となる「顔見知り」の関係は何かの仕掛けが必要でした。



★阪神淡路大震災時の助け合い

阪神淡路大震災ではまだ顔見知りの関係までにはなっていない時でした。隣近所や今ままであまり親し

くなかった人たちとも自然発生的に助け合い関係が起こっていたようです。 (例えば給水車の水を部屋まで運ぶなど) だが、日常的な見守りや支え合い等になるのは後日のことでした。



★ふれあいサロン、自治会など

震災から何年も後のことになりましたが、地域の高齢化が進み一人暮らしの方を初めとする見守りが必要になってきました。

このための顔見知りの関係づくりで役立ったのが「ふれあいサロン」や自治会の設立です。幸い各マンションには集会所が併設されていますので、ここを活用させていただき、顔見知りの関係が次々にできていきました。旧来の祭りに変わる地域の行事が育ってきました。「顔見知り」の関係が広がってきたのです。「見守り、助け合い」の関係が広がってきたのが人の面から見た「地域の宝もの」といえます。



★山、川、森、緑地、公園等々

立地から見た「宝もの」もたくさんあります。

私たちの「まち」は西に六甲山が控え、逆瀬川や白瀬川が流れる場所です。地形や地質からくる特徴は題材が無数にあるようです。

又、そこで生きている動植物も四季折々に見ることが出来ます。又、土地柄に合わせてつくられた公園や緑地、遊歩道もなごめる場所として育ってきています。さらには各マンション等には必ず併設の公園もあり、そこで花壇等を作って生活に潤いをもたらせてくれます。さらには六甲山、甲山、行者山等を借景とした生活も多くの人が取り入れておられます。



★素晴らしいまちを伝えて下さい

この素晴らしい「まち」を皆様の目で発見し、「知ら咲か」紙面でお伝え下さい。編集部一同、お待ちしております。例として、次ページに地域で見られた写真を掲載します。

「地域の宝もの 山・川・森・人」



読者投稿

「安らぎの場所」が

逆瀬台には緑の場所が沢山あります。マンションの南側の窓を開ければ「甲山」が、ゴルフ場も近くに広がっています。北側には六甲山系の山並みがあります。

道並みには街路樹が、戸建てのお宅の玄関先には家それぞれの花壇や鉢植えの花が目に入ってきます。花の街「宝塚」にふさわしい光景で一杯です。

そんな中を家内と一緒に、ほぼ毎日1時間程度ほどウォークしています。

その時必ず足を止めて暫く眺めて「ホット」できる場所があります。

これは私だけではなく家内も同じような思いをしているようです。

その場所は「白瀬川歩道橋」から眺める事ができる北側の自然の風景なんです。

白瀬川の両岸には三〜四本の大きな木が植わっています。その木の枝葉がお互いに伸び絡まって枝葉のトンネル

状態に覆いかぶさっています。その下を白瀬川が静かに流れています。それだけのことなのですが！
何度見ても飽きない風景・・・

なので！

生まれ育った田舎の風景をも思い出すからかもしれない。絵に描きたくなるような景色です！

ところがです！大変なことに！

両岸の木々が伐採されたのです。エネオスのガソリンスタンド側は全部伐採されてし



まいりました。景色が半減した感じですが、残念でなりません！賛否両論あるでしょうが！

あなたはどう思われますか？

(記：T)

読者からの投稿

ご存知ですか 『蜂窩織炎(ほうかしきえん)』という病名

身に覚えがない、記憶にないような引掻き傷から知らぬ間に細菌感染を起こしてしまう病状です。病名の感じが難しいです。

それこそ記憶にないような傷口に抗生剤の入った軟膏を塗っておりましたがなかなか傷口に皮膚がはつきません。若いときは2・3日で直っていたような傷も時間がかかるようになり、年をとってやることを実感することもしばしば。今回もそうだろうと気にもしていませんでしたが1週間も過ぎた頃、朝起きたら足が着けないぐらいの痛みを伴った状態でよく見ると足の甲、足首が随分晴れて太くなっています。オーバーに言えば象の足。



大人が引っかけ傷ぐらいで病院に行くことも普段はないでしょうが今回は早々に診察を受けました。医師から病名と治るのに時間がかかりますの二言。その日から抗生剤を飲むことと毎日の点滴点滴治療に来るようになり言われました。何より驚いたのは日・祝日も点滴に来るよりに言われたこと。日・祝日も治療してくれるのにもよってビックリ。



点滴は8日間続きその後はゲンタシン軟膏にお世話になっております。病院も3週間経過後通院を免除され、自宅で軟膏を塗る毎日です。とは言え初診から1ヶ月以上経過しては完治はまだのようです。火山の噴火後のような形態から平坦になれば完治です。傷口からの感染症にはお気をつけください。決してバカにしてはいけません。

(K)

巨大な構築物 正体は何？

数ヶ月前から六甲山方面に巨大な構築物が表れました。

何も気にする必要はないのですが、一度見てしまうと何なのかとても気になります。以前であればすぐに六甲山縦走路に登って現地を見に行ったことでしょうか。しかし、年齢を重ね、いさ

さか足にも自信が持てません。見に行くこともかなわず何ヶ月か経過しました。

この構築物、相当、大きいのでしよう。かなり遠方からでもしっかり見えています。宝塚新大からでも十分認識出来ます。岩倉山にある阪急電鉄の反射板より大きく見えています。

9月に入って、覆っていた工事用のシートが外されま

した。今は、その姿を確認することができません。

これはNTTドコモの電波塔で傷んだ塗装のリフォーム工事をしていたそうです。工事中は防護シートで覆っていたので、通常よりもさらに大きく見えていたようです。

些細なことでも気にしだすと、脳裏からはなれないですね。

(S L)



ベランダのオリーブ

葉っぱのやさしい色が気に入ってベランダにオリーブの鉢植えを置いています。最初は一鉢だけだったのですが、二本並べればさらに色の効果が出るかなと鉢を増やしました。



全く実のことは念頭になかったのですが、5月頃に枝に小さな花が咲いていました。二本ともです。花が咲くのならば実が付くかもと淡い期待をするようになりまして。ネットの説明でもオリーブ



ブは実のなる樹とならない樹があると書かれていました。雌雄異株でしょうか。実が付くのは後日ですが、やはり一本だけ実が付いています。栽培知識はやはり必要だと思いました。(A4)



いつもより少ない?

「ミヤマアカネ」

投稿 Y

酷暑と線状降水帯に代表される異常とも思える夏でした。雨も多く、川の流れる音も休み無く聞こえてくるようにも感じられました。この影響かどうか分かりませんが、毎年、逆瀬川や白瀬川でよく見かける「ミヤマアカネ」が心なしか少なかったように思います。

酷暑と線状降水帯に代表される異常とも思える夏でした。この影響かどうか分かりませんが、毎年、逆瀬川や白瀬川でよく見かける「ミヤマアカネ」が心なしか少なかったように思います。



パークマンションの歌壇造り

『コスモス』活動日より

七月の中旬に紫陽花が終
わってから二か月が経過し
ました。
八月は非常事態宣言と酷
暑のため活動はひと休みで
した。
そのため公園入り口付近
には雑草が増えているた

め全員で雑草引きを行いま
した。
スコップで掘り返す人、し
やがんで草引きする人、引き
抜かれた草を集めてビニー
ル袋に入れる人、草を入れた
袋を一か所に集める人、それ
ぞれ分担しての作業を行い

ました。中腰や座り込み等腰
に注意しながらの作業
なので大変でしたが愉快的
な会話を
交わしながらの楽しい一時
でした。
雑草引きは予定時間内には
全部は
出来ませんでした。最後は
紅茶で疲れを癒し作業を終
えました。

(記；HB)



「知ら咲か」を振り返り

スタッフとして・・・

2021年9月、「知ら咲か」100号が白瀬川ブロック全世帯に配布されました。8年を通して「知ら咲か」の歴史を刻むことが出来ました。有難う御座います。

白瀬川両岸集合住宅協議会(白瀬川ブロック)で、知らせましよう・咲かせましよう(知ら咲か)が生まれました。

ブロックは、8つのマンションの、管理組合からなる協議会で環境問題をきっかけに情報交換や、共通の課題を話し合う場として結成されました。

(2008年)高齢化が進む中、緊急対応ノートの作成、ワークショップでの学習会や交流活動を行い、「集合住宅での見守りはしやすい」と言う発想で、「住民同士の見守り、助け合いの輪を広げて行きました。

各住宅の助け合いの活動を支援することを目的とした新しい活動組織「知ら咲か」が設立されました。

白瀬川ブロックは1971年〜1989年にかけて分譲主の異なる8つのマンション群からなる逆瀬台小学校区ニュータウン地区です。1435所帯で、どこも同じですが、高齢化が進んでいきます。

当時のマンション群は管理組合はあるものの自治会が結成されておらず2008年に管理組合で構成するブロックが組織化されました。

月1回の広報紙の発行などをを行う助け合いの組織の誕生です。

各マンションの催しものを中心にサロンの情報を全て配布し、お互いに認め合えるお知り合いになればいい地域の情報を集めて伝えていく事に専念しています。

助け合いの輪のベースにより高いレベルを見据えた事業団体として発足し、事業目的に賛同する会員の会費やその他の収入により運営

し、担い手もブロック内の住民を基本としていました。

今、現在の「知ら咲か」は、任意団体として独立して、住民の安心・安全をモットーに8つのマンションの情報をお届けする事で月1回の広報紙を配布しています。

8ページの冊子は珍しく、今はコロナ禍の為4ページになることもあり、心苦しく思っています。

以前は8つのマンションの大型ごみの収集も続けました。各マンションの中心者にスタッフの要請をしました。誰一人協力してもらえずショックを受けましたが、なぜ成るでやり切りました。

高齢者の一人暮らしの人は家の整理がつかず、ごみ屋敷状態になると聞き、立ち上がりました。とても喜んで頂きました。料金も市と同じにしました。

スタッフは6人です。ほとんどが、高齢者です。火事場のバカ力でなぜ成るの心意気でした。ボランティア活動のだいご味です。「知ら咲か」に参加させて頂き、良かったです。

厳かったけれどもいい体験が出来ました。

私は10年前に引越してきました。ポストに「知ら咲か」の新聞が、入っていました。

会員募集の記事を見てすぐ年会費3000円を振り込みました。

なんの強制もなく誰でも受け入れてもらえることに温かさを感じました。

人間の生き方『一人では生きていけない』他のマンションの人達との共有できることに安心しました。手が空いていたら手伝ってねと言われれば二つ返事でOKです。

「知ら咲か」の打ち合わせ会は月1回(2時間)です。それを8年間続けてきました。

私利私欲のない人たちとのお付き合いも楽しいものです。

コロナ禍の中ご自愛くださいませ。

何時でも会員募集中です。

(M)

【編集後記】

ピークが分らない新型コロナウイルス感染症。早く接種が終わった高齢者の感染者数の減少からはワクチン接種の効果は出ているようにも感じられます。しかし、ワクチン接種が進んでも気を緩めることはできません。とにかく未知のことが多く、注意を怠らないようにするようにしたいです。

「知ら咲か」100号を発行した先月、メンバーの間で色々なことを思い出しながら振り返りました。今号の記事にも歴史を振り返って見た記事もあります。字が多く読みづらいかもしれませんが一読下さい。メンバーみんなが共有していることばかりです。

今、メンバーみんなの希望と一緒に情報誌づくりに参加頂ける方です。

興味のある方は是非、参加下さいませようお願い致します。

(S)

白瀬の自然

秋の蟻 (巣作り)

散歩中に何かな?とっていました。

地面にこんもりと土が盛り上がっている場所があることです。今朝、見かけた光景でその理由が分かりました。

ゆずり葉緑地公園の逆瀬川へ降りる階段です。じっくりと様子を見ていました。

階段にある穴の開いた部分から何匹もの蟻が小さな土の粒を外に運び出している様子でした。小さな 1 ミリもない粒です。

多分、この穴の中に巣を作っているのでしょう。ゼッケンを付ければすごい数の蟻が次から次へと運んでいるのでしょう。

穴の奥には部屋が何室もあるはずです。



宝塚の皆様に愛されて 15 年!

貴金属・宝飾品・骨董品

15 周年記念超高価買取中!!

BEST MASTER
ベストマスター宝塚店

兵庫県公安委員会許可第 631390700017 号

0120-498789

0797-74-1559

営業時間 10 時~16 時 水曜定休 (土日も営業しています)

ベストマスター8 大宣言!

- ① どこよりも高く買い取ります!
- ② 何でも買います!
- ③ どこよりも安くお片付けいたします。



アヴェルデ 4 番館 1 階(駐車場あります)